
easyHousing

環境設定マニュアル WindowsXP 編 第 1.3 版

2012年7月24日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	内容
初版	2011/08/29	・ 新規作成
1.1 版	2012/01/20	・ 改版履歴を追加 ・ 4.1 Internet Explorer 6 の設定～ 4.3 Internet Explorer 8 の設定 → 4.1 Internet Explorer の設定に統合 ・ 4.1 Internet Explorer の設定 「インターネットオプション」 「インターネット」の設定を「信頼済みサイト」で行うように修正 それに伴い、Cookie とポップアップブロックの設定手順を削除
1.2 版	2012/05/15	・ 4.1 Internet Explorer の設定 ④ セキュリティの設定に「アプリケーションと安全でないファイルの起動」にチェックする手順を追加 ・ 5.1 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール ⑧ 既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合の手順を追加 ・ 5.2 JRE のインストール JRE1.7 のインストール手順に変更
1.3 版	2012/07/24	・ 4.1 Internet Explorer の設定 ポップアップブロック解除手順を追加 ・ JRE と電子証明書ライブラリのインストール順を変更 ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 読み込み画面の説明を追加

目 次

1	はじめに	2
2	利用者環境	3
2.1	Windows ユーザの権限について	3
3	電子証明書のインストール	4
4	インターネットエクスプローラの設定	7
4.1	Internet Explorer の設定	7
5	必要ソフトウェアのセットアップ	18
5.1	JRE のインストール	18
5.1.1	JRE1.7 のインストール手順	21
5.2	easyHousing 電子署名ライブラリのインストール	23
5.3	Adobe Reader のインストール	34

1 はじめに

このマニュアルは、本サービス利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

- ・利用者環境の確認
- ・電子証明書のインストール
- ・インターネットエクスプローラの設定
- ・必要ソフトウェア（電子署名ライブラリ、JRE、Adobe Reader）のセットアップ

※このマニュアルは、WindowsXP を対象としています。

2 利用者環境

2.1 Windows ユーザの権限について

本サービス利用にあたり、Windows ユーザの権限に制限はありません。

しかし、事前準備にあたり、Windows ユーザは下記の権限を所有している必要があります。

○…Administrator 権限必要 ×…Administrator 権限不要

	電子証明書の インストール	インターネット エクスプロー ラの設定	電子署名 ライブラリの セットアップ	JRE の セットアップ	Adobe Reader の セットアップ
初めて設定する場合 (初回設定ユーザ)	×	×	○	○	○
同一 PC 上で、複数の Windows ユーザに対し て設定する場合 (初回設定ユーザ以外)	×	×	× (※1)	× (※2)	× (※2)

※1 インストール時に、ログインユーザでインストールするか、管理者権所有ユーザでインストールするかの確認メッセージが表示されます。

ここでは[ログインユーザ](#)でインストール作業を行ってください。

※2 初回インストール時に、管理者権所有ユーザでインストールした場合は、セットアップは不要です。

3 電子証明書のインストール

電子証明書のインストール手順を説明します。

- ※ 本作業は、発注処理・請負処理の契約行為を行う端末に必要な作業です。
参照するだけであれば不要です。

●用意するもの

- *1 「easyHousing 電子証明書」のCD-ROM
- *2 「証明書パスワード (PINコード)」を記載している葉書

①電子証明書のCD-ROM (*1) をドライブにセットしてください。

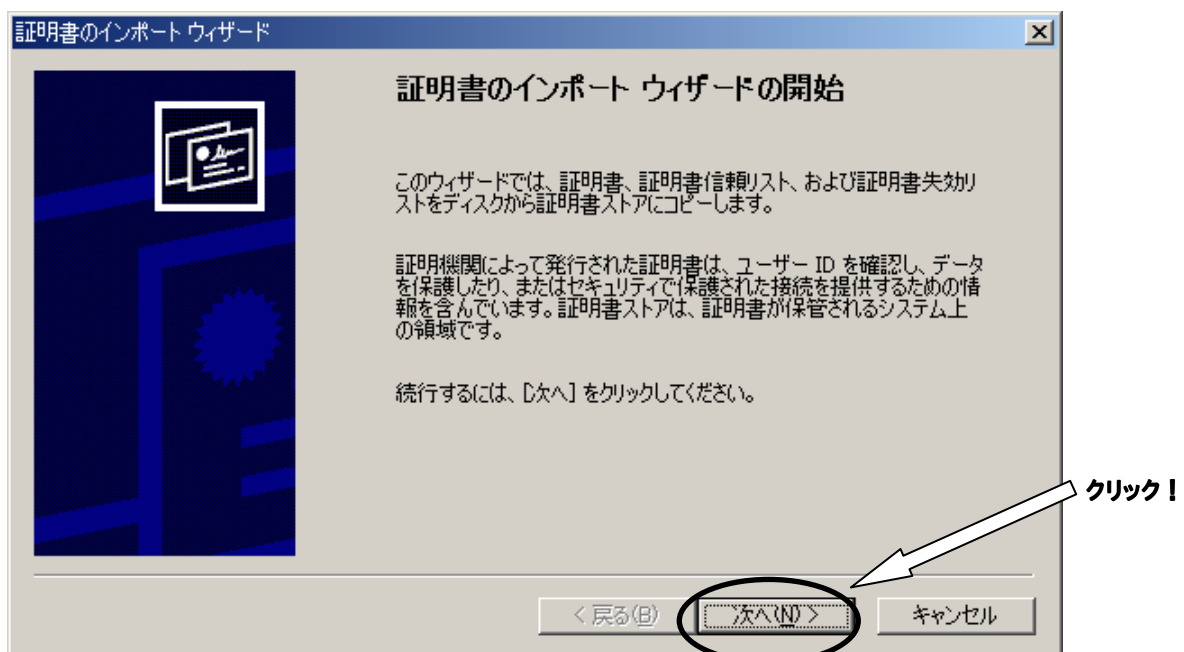
「CERT_xxxxxx.p12」をダブルクリックし、セットアップを開始します。

◆メモ◆

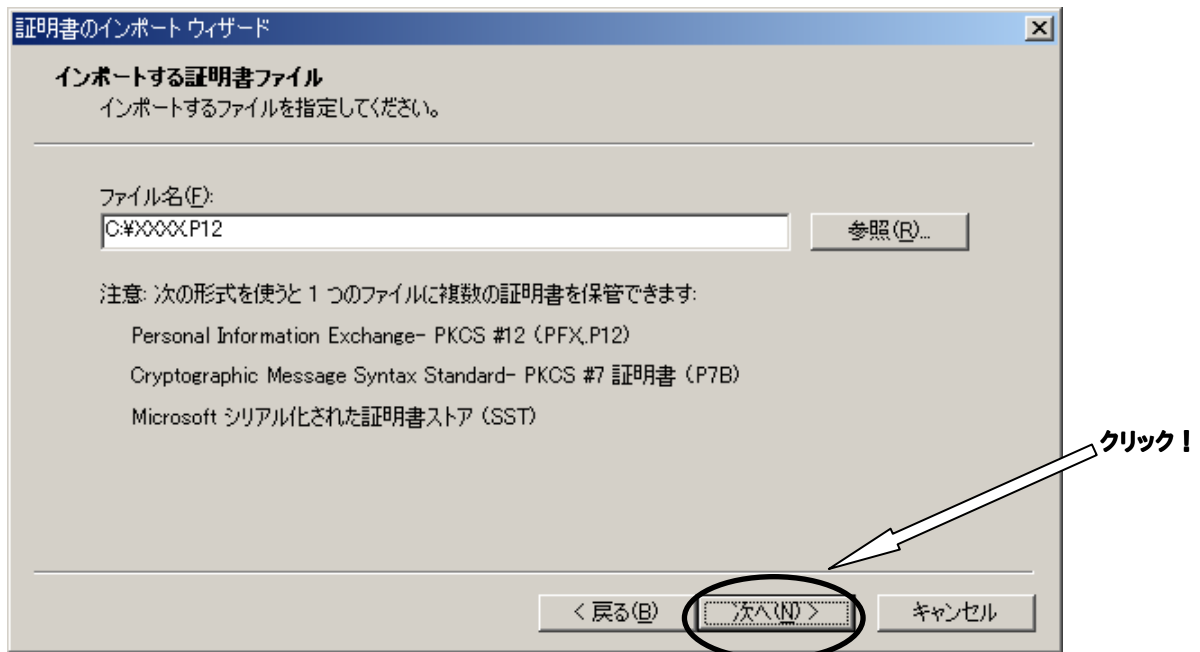
オートラン機能が有効なシステムでは、CD-ROM の内容が自動的に読込まれ 下図の画面が表示されます。

オートランに対応していないシステムや、ファイルを指定してインストールする場合は、エクスプローラから CD-ROM ドライブを開いていただければ同様な操作ができます。

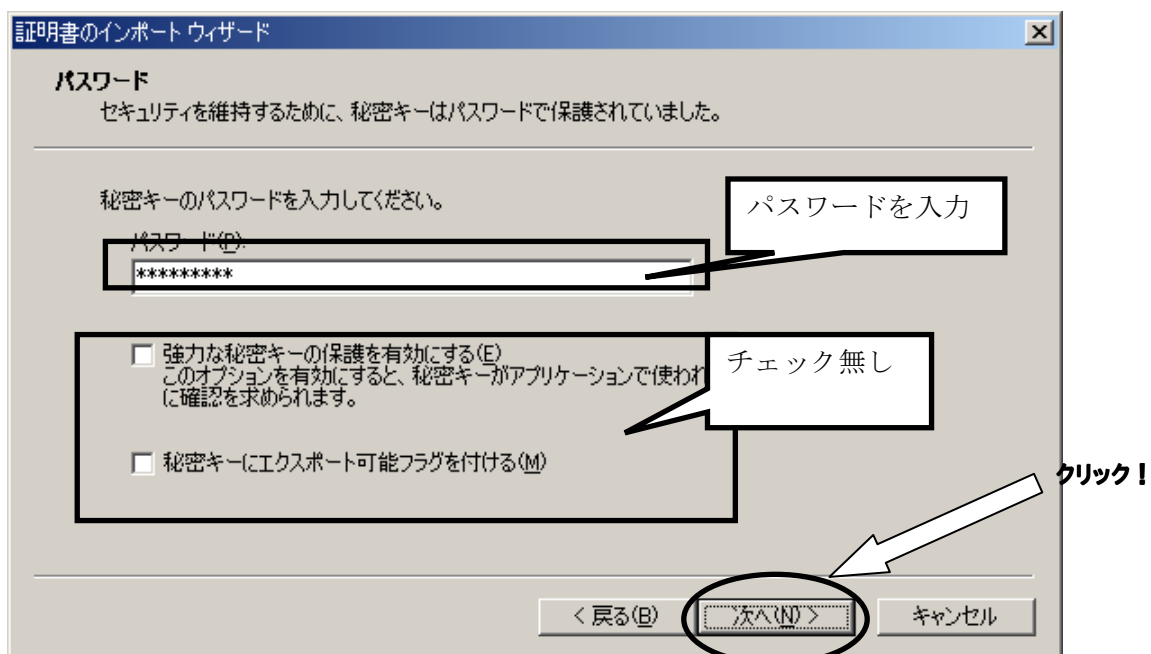
②「証明書のインポートウィザード」が表示されるので、『次へ』ボタンをクリックします。



③<インポートする証明書ファイル>画面が表示されます。『次へ』ボタンをクリックします。



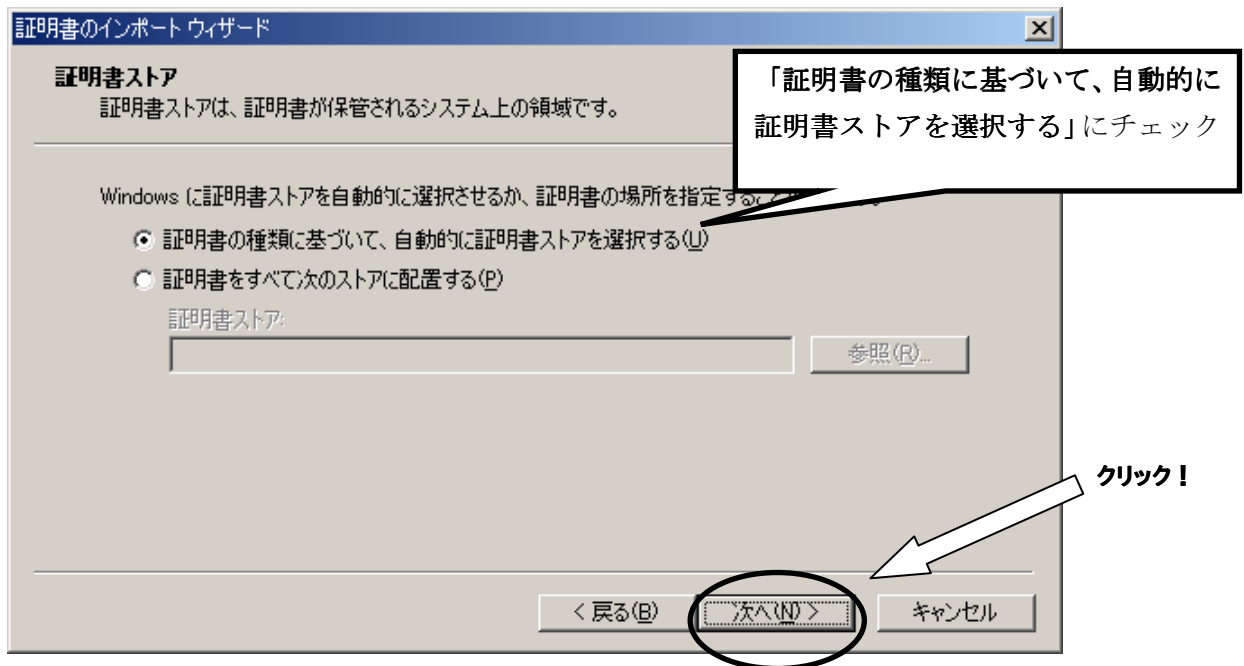
④「パスワード」画面で、「証明書パスワード（PINコード）」の葉書（*2）に記載されているパスワードを入力し、チェックボックスにチェックが無いことを確認し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



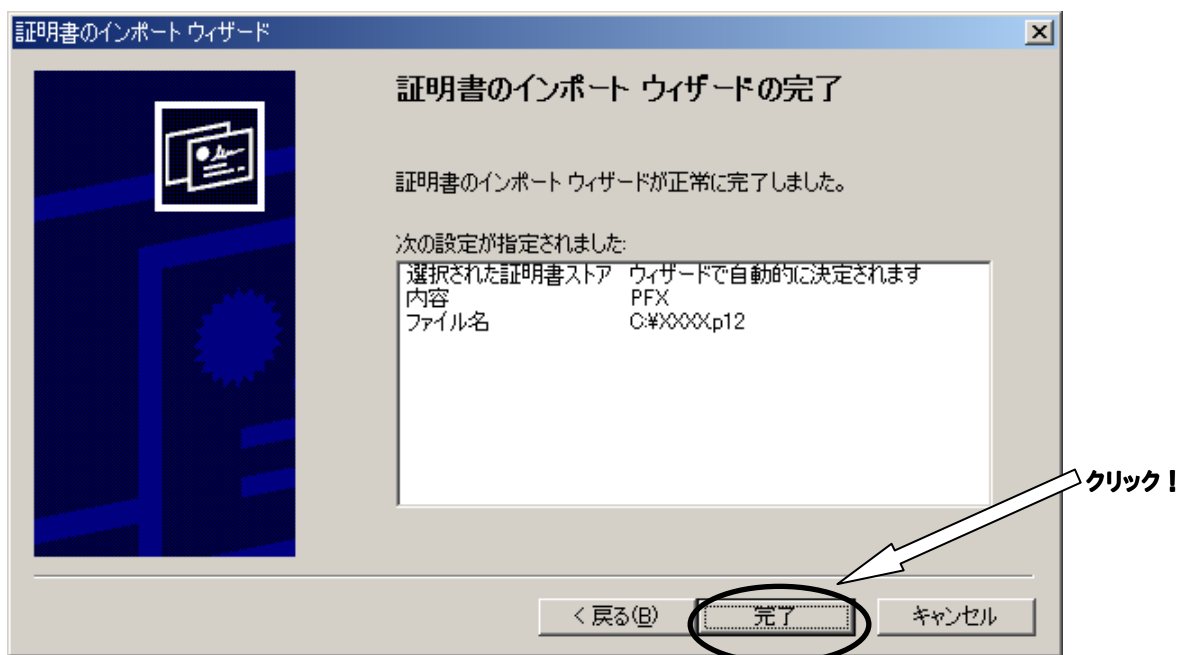
★注意★

- ・パスワードは「大文字」「小文字」を区別しています。葉書に表記されている通りに入力を行ってください。
- ・パスワードを打つと全ての文字が「*」で表示されますので、お間違えの無いように入力を行ってください。

- ⑤ <証明書ストア>画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選択し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



- ⑥ <証明書インポート ウィザードの完了>画面では、『完了』をクリックします。



★注意★

電子証明書の保管庫は Windows の証明書ストア“個人”になるので、発注/請負を行うには、電子証明書をインストールした際のユーザーアカウントで Windows にログインしておく必要があります。

4 インターネットエクスプローラの設定

本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに自己責任で行ってください。

このマニュアルでは、Internet Explorer 6, Internet Explorer 7、Internet Explorer 8 について説明しています。

4.1 Internet Explorer の設定

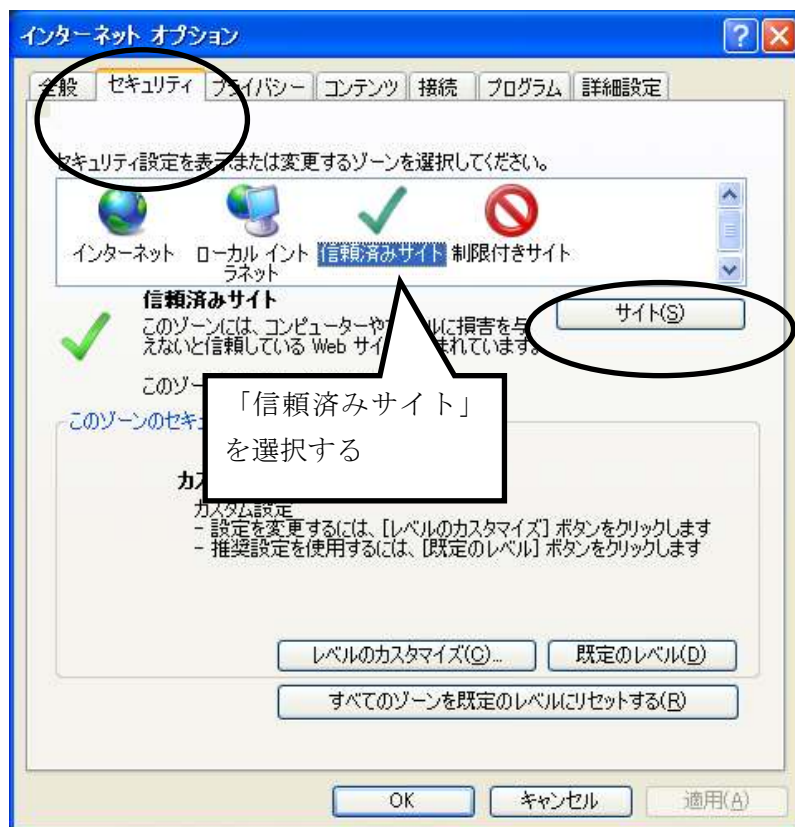
①メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

（【ツール】が表示されていない場合は、Alt キーを押下すると表示されます）

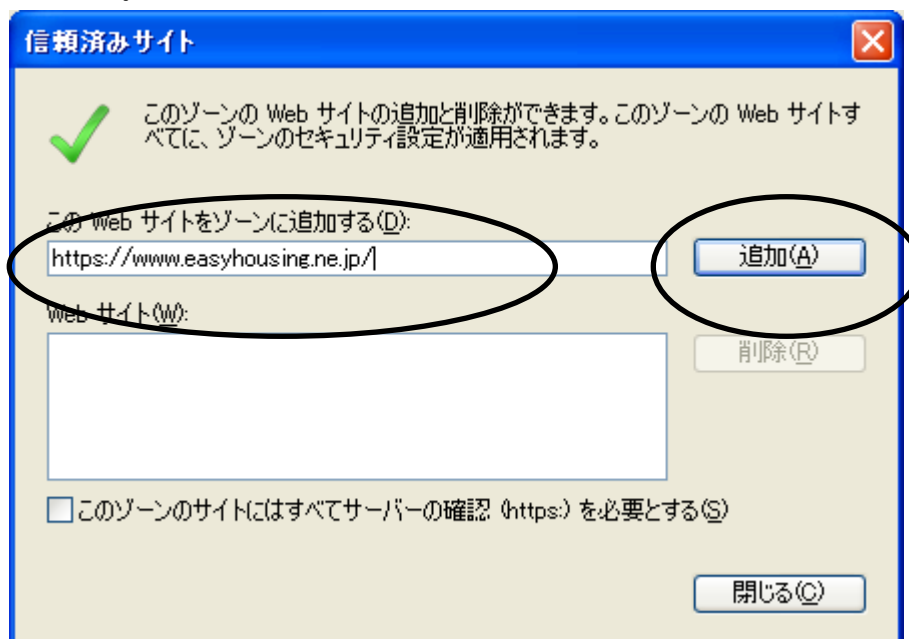


②信頼済みサイトの設定をします。

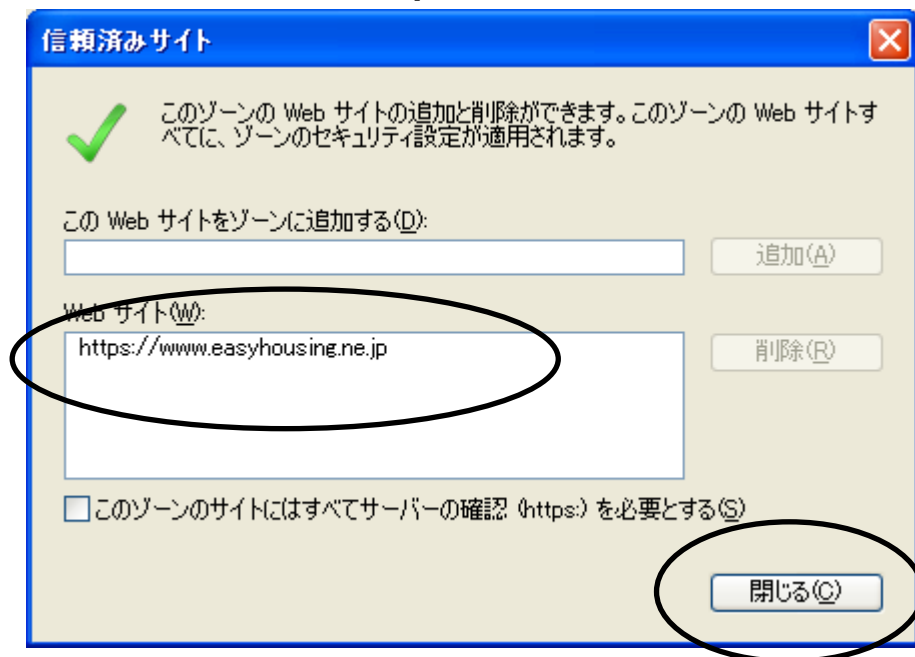
1.「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックして下さい。



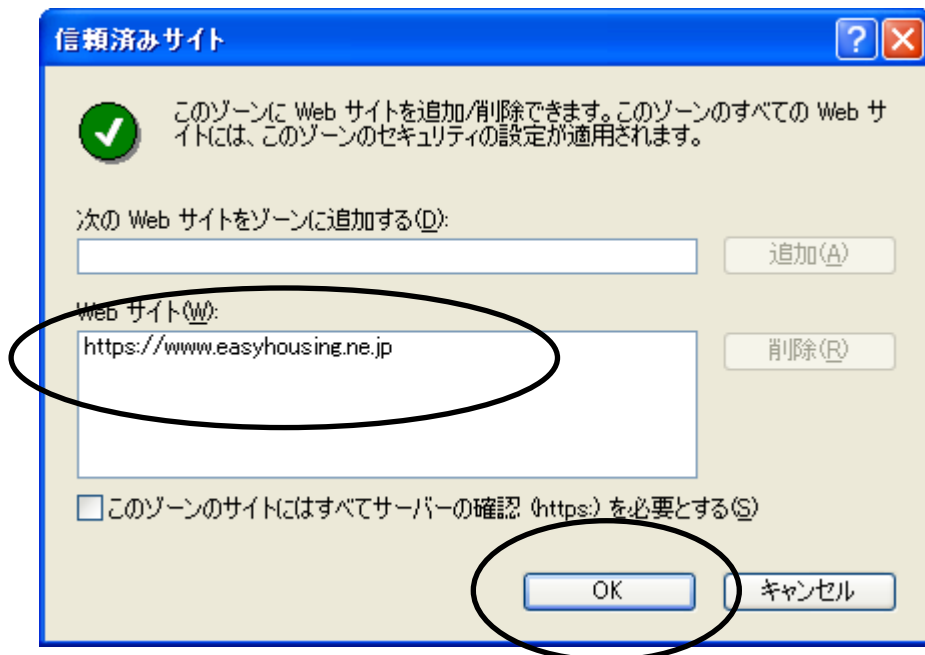
2.信頼済みサイトの設定画面が表示されるので、「この Web サイトをゾーンに追加する」に「https://www.easyhousing.ne.jp/」と入力し、「追加」ボタンを押下してください。



3. 「Web サイト」に「https://www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタン(Internet Explorer 6 の場合は OK ボタン)を押下してください

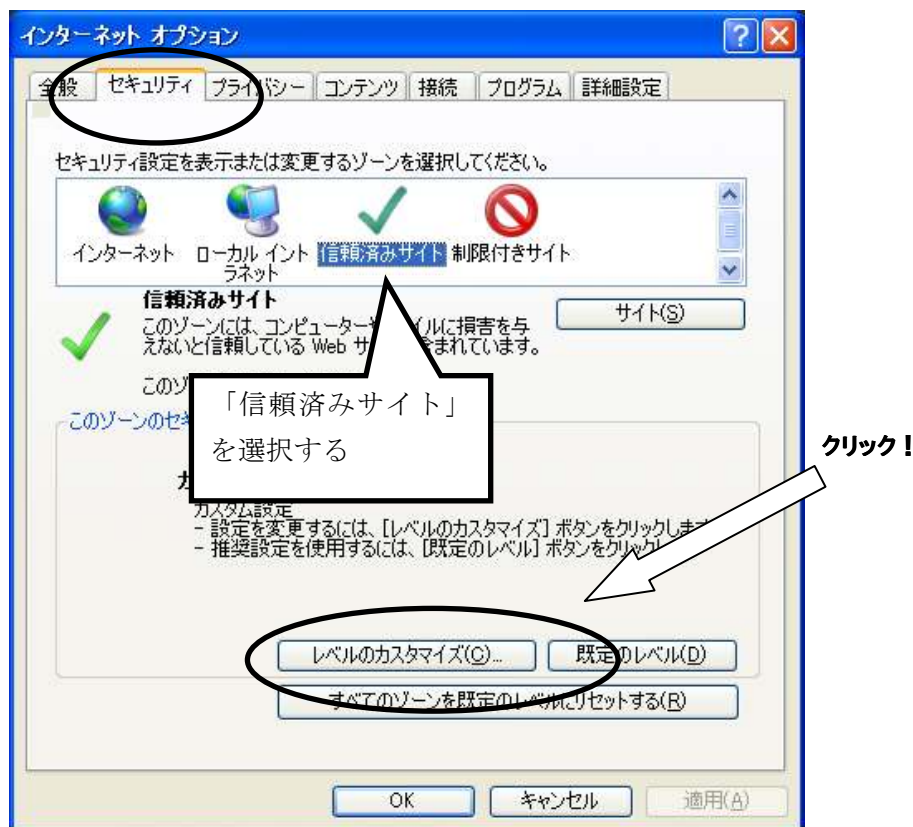


(Internet Explorer 6 の場合、閉じるボタンではなく OK ボタンになります)



③<インターネットオプション>画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

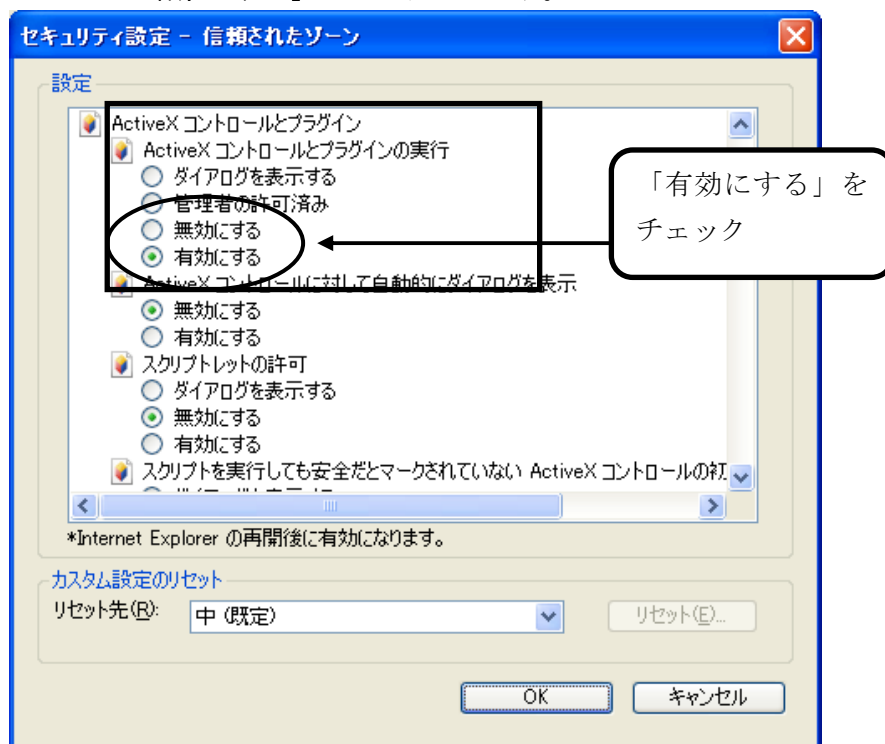
「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックして下さい。



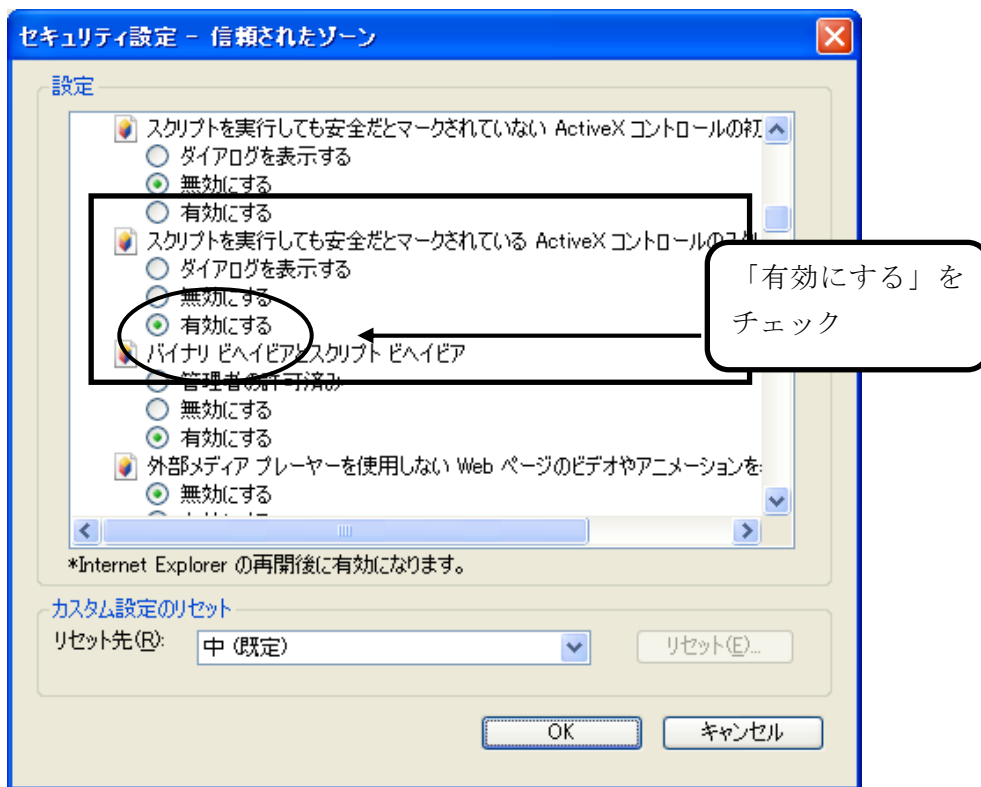
④<セキュリティの設定>画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

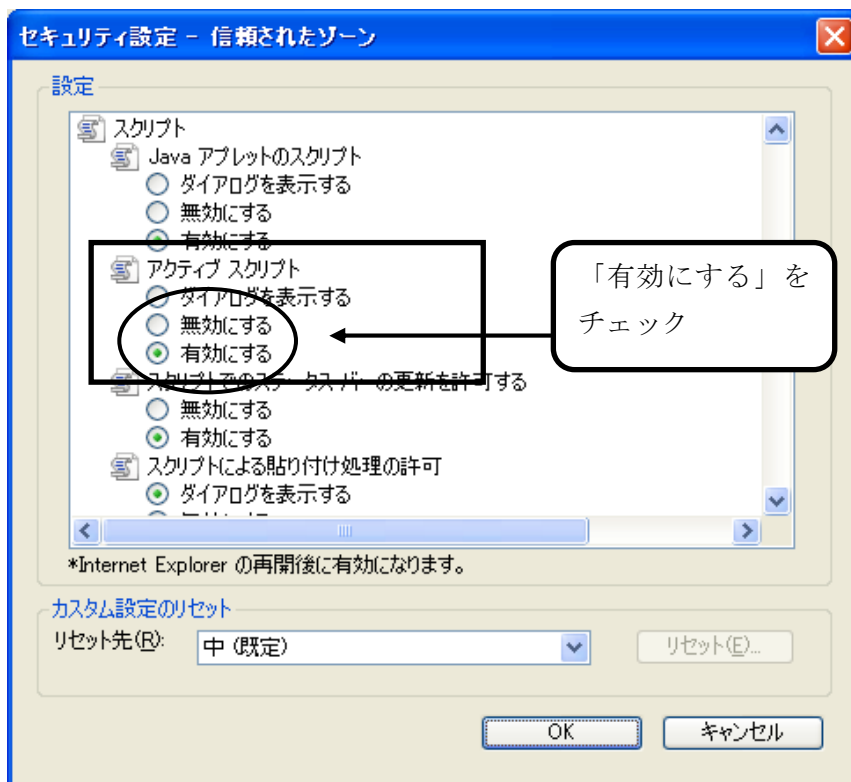
→「有効にする」にチェックします。



- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行
→「有効にする」にチェックします。



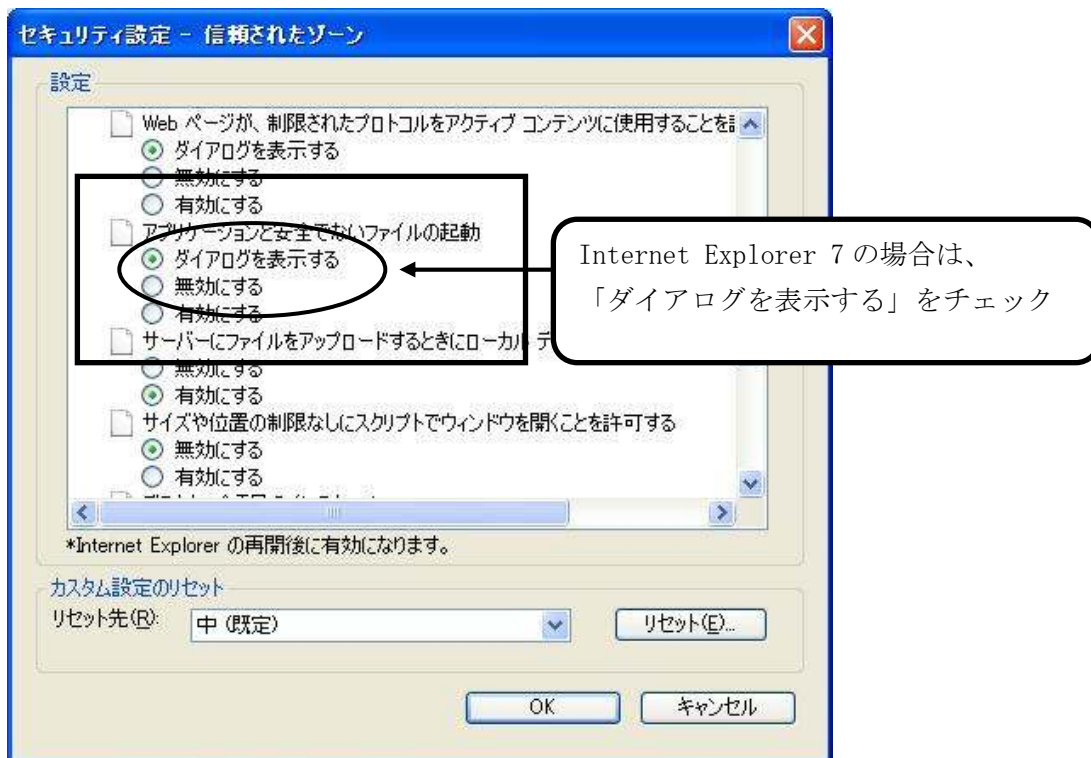
- アクティブスクリプト
→「有効にする」にチェックします。



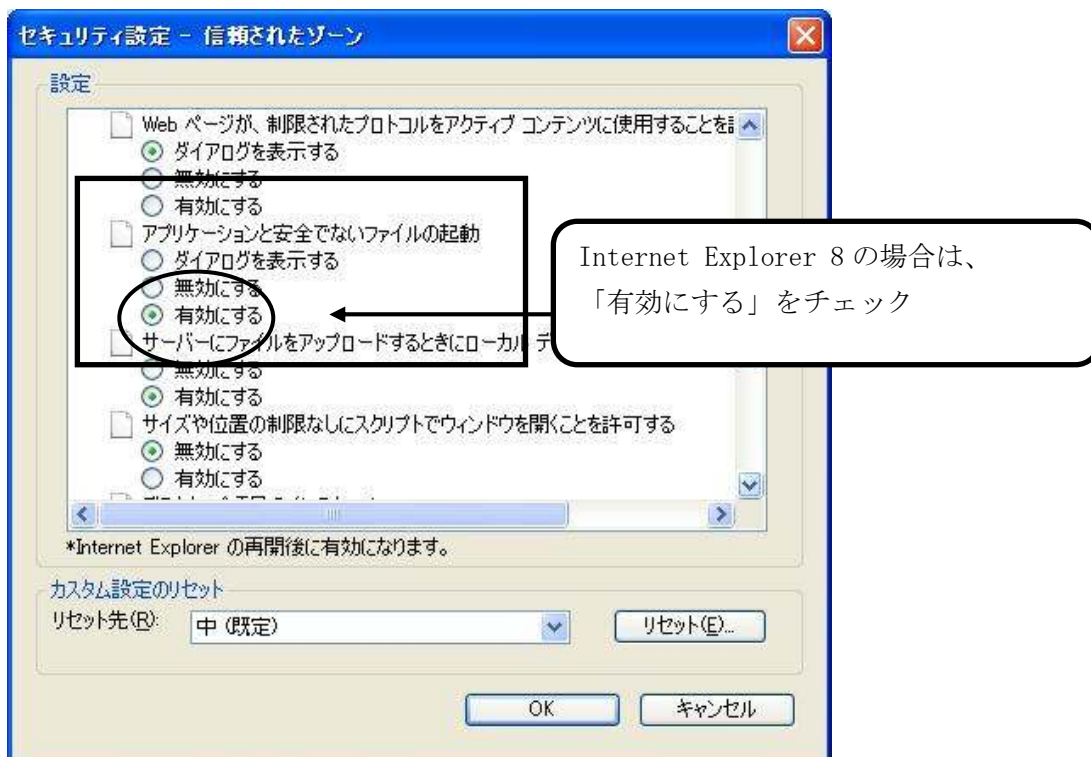
●アプリケーションと安全でないファイルの起動

→Internet Explorer 7 の場合、「ダイアログを表示する」にチェックします。

(Internet Explorer 8 の場合、「有効にする」にチェックします)

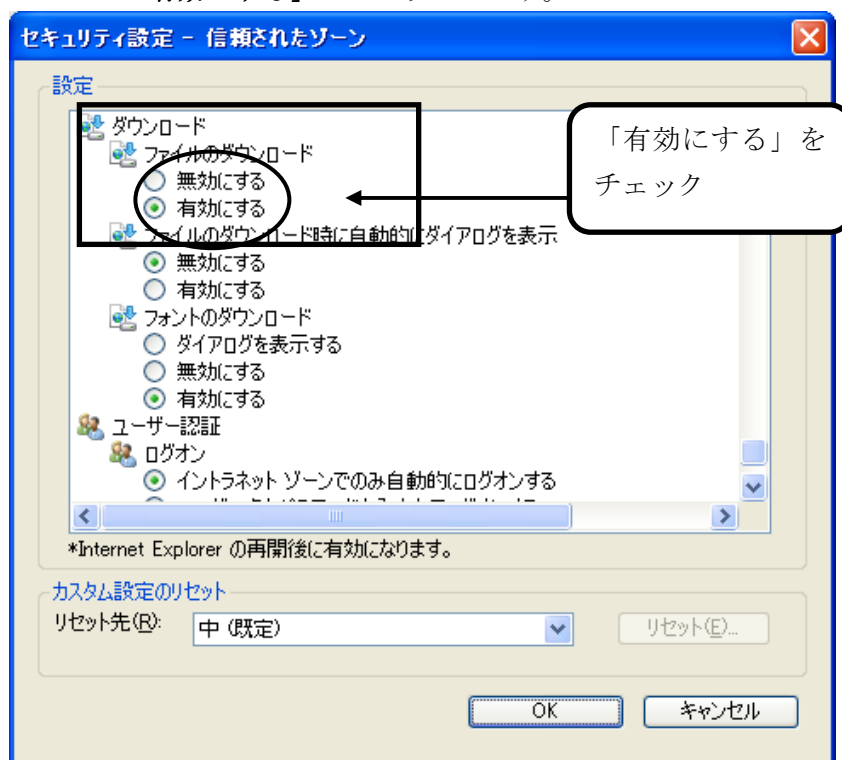


(Internet Explorer 8 の場合)



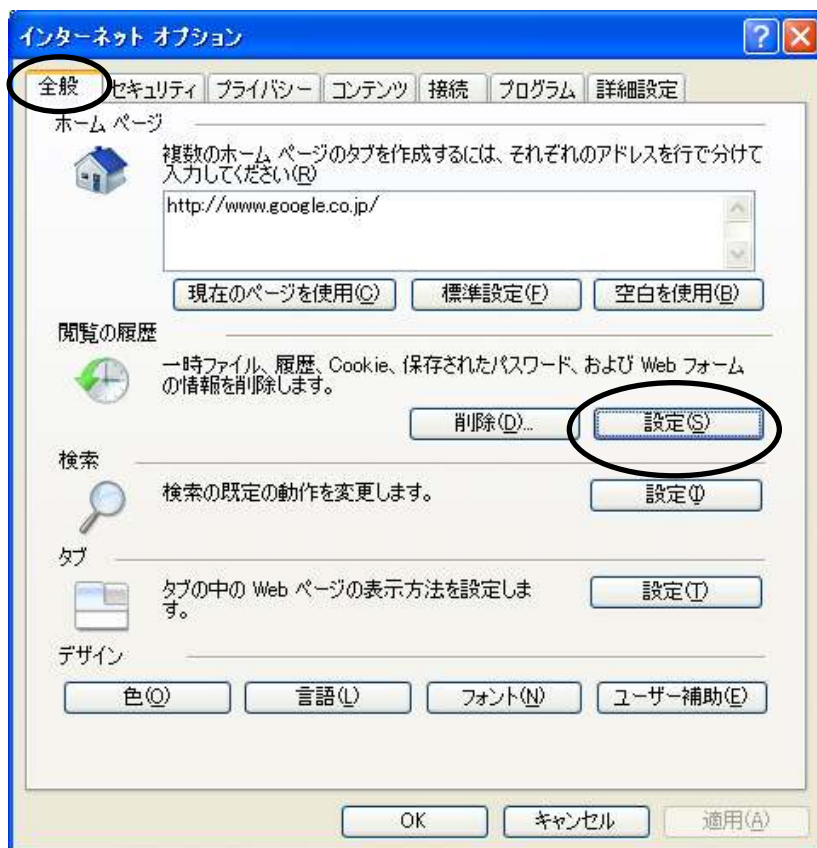
●ファイルのダウンロード

→「有効にする」にチェックします。

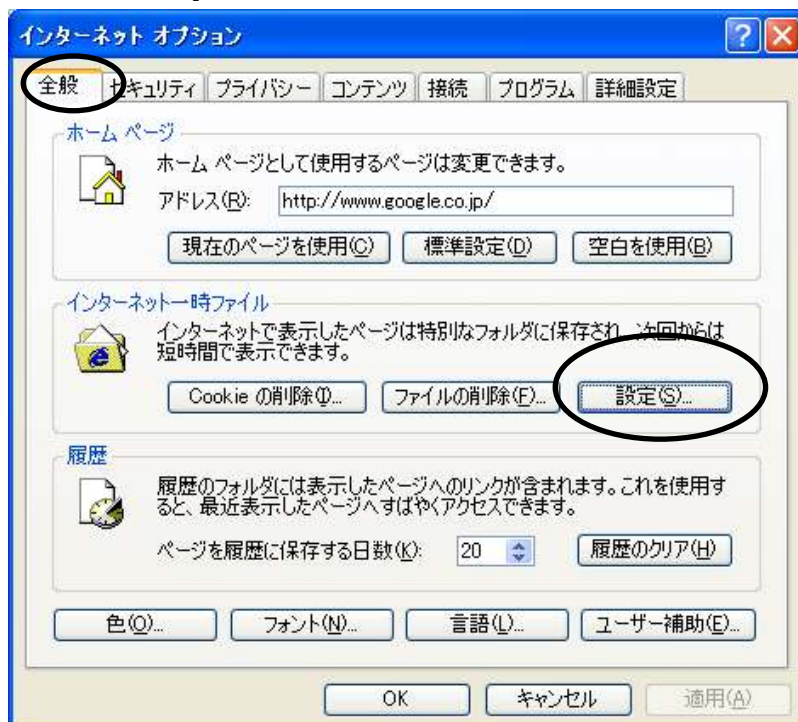


⑤『OK』ボタンをクリックし、＜インターネットオプション＞画面に戻ります。

- ⑥ [全般] タブを選択し、「閲覧の履歴」の「設定」ボタンをクリックしてください。
 (Internet Explorer 6 の場合は「インターネット一時ファイル」の「設定」ボタンをクリックしてください。)



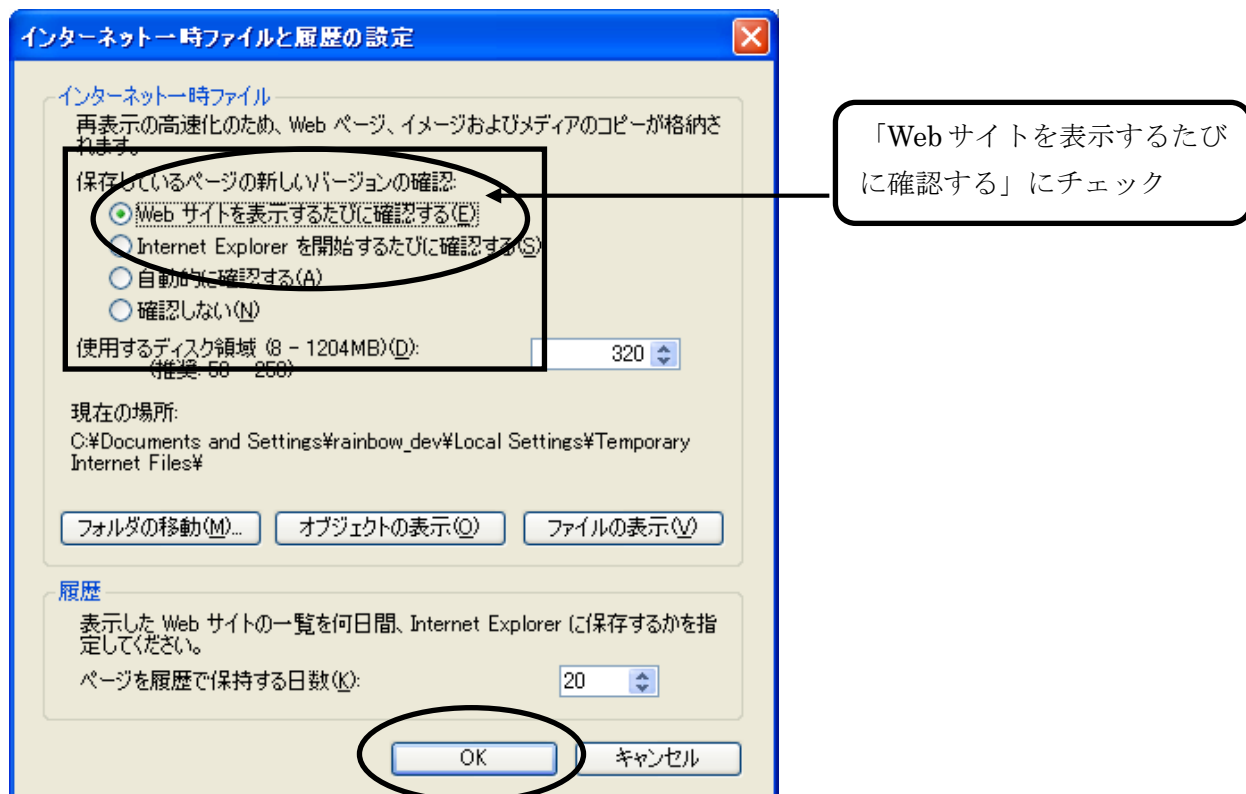
(Internet Explorer 6 の場合)



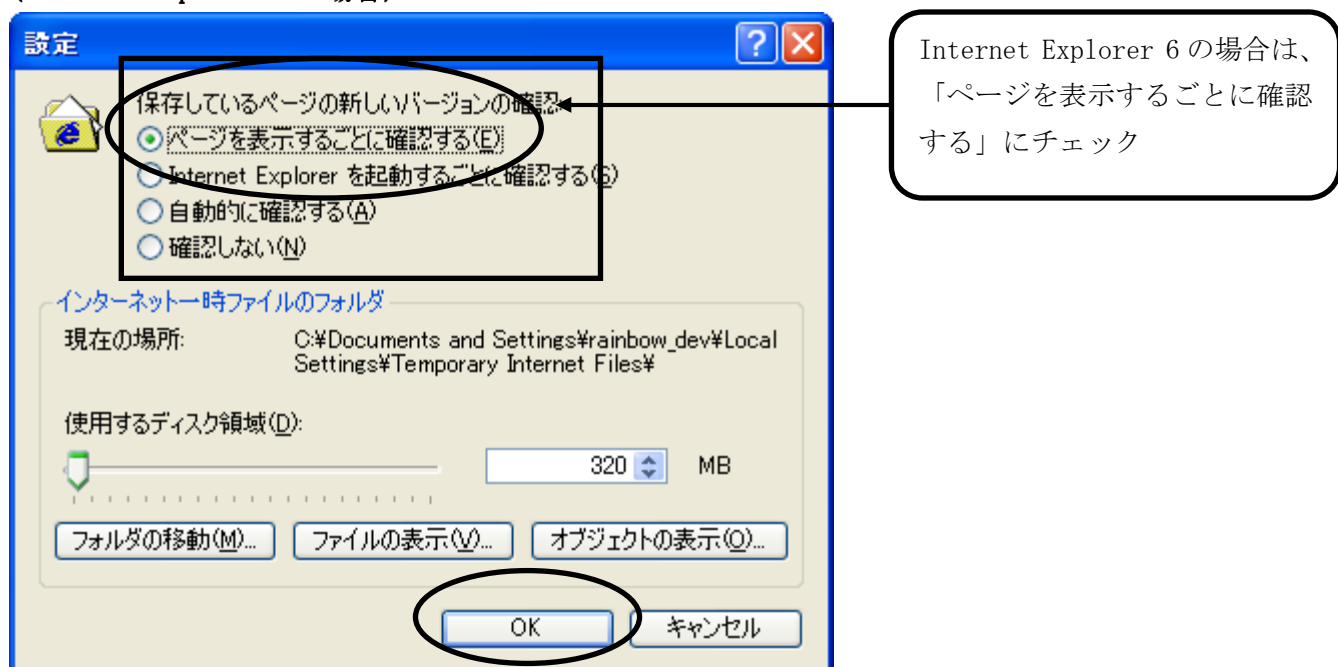
⑦保存しているページの新しいバージョンの確認

「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。

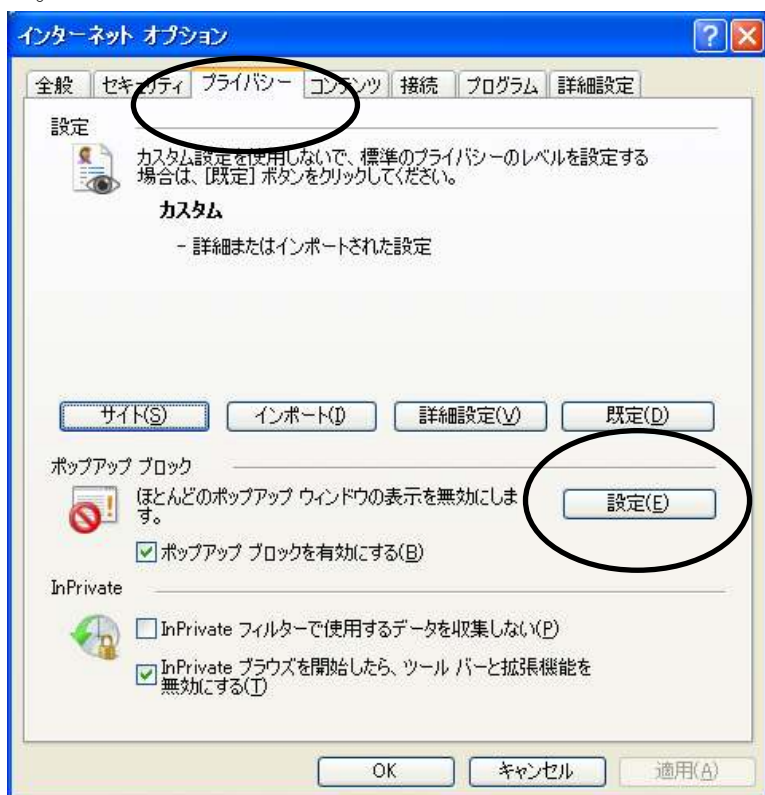
(Internet Explorer 6 の場合は「ページを表示するごとに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。)



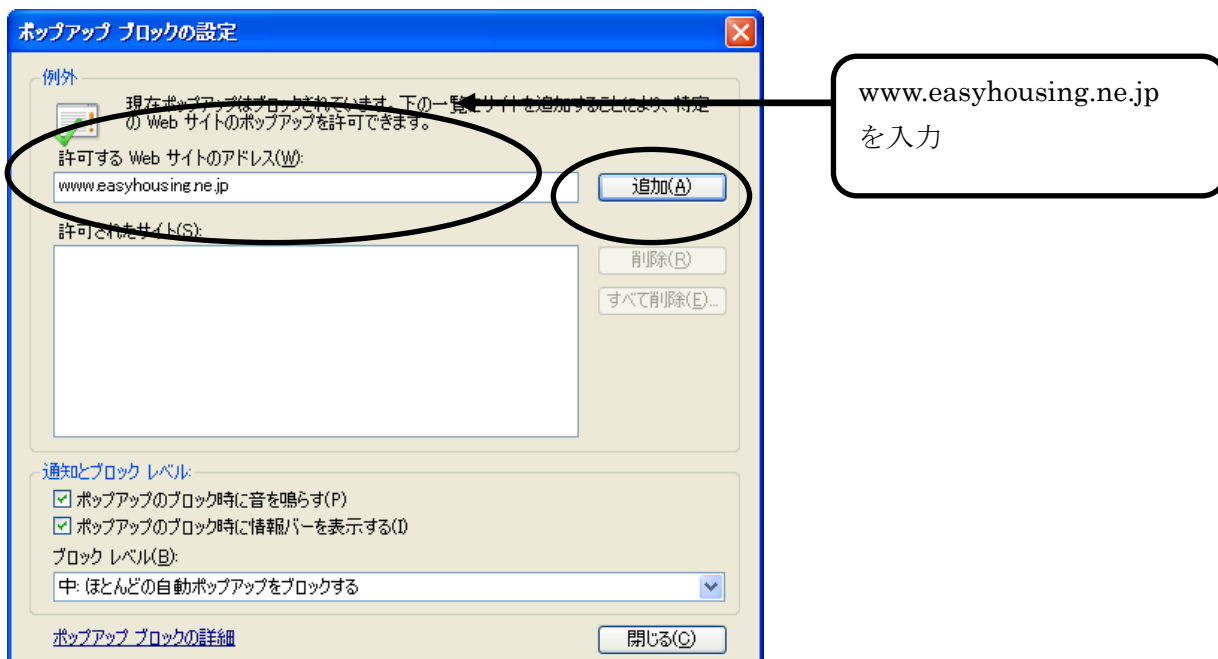
(Internet Explorer 6 の場合)



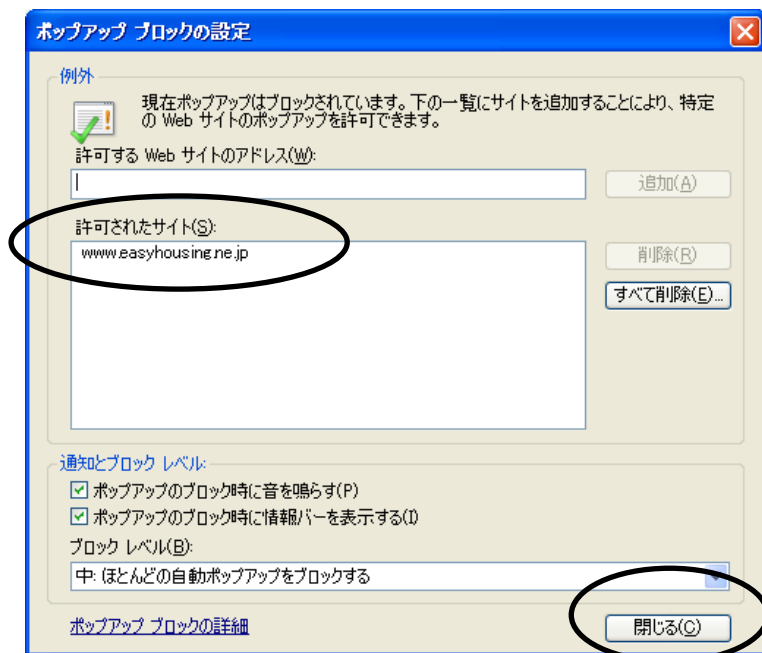
⑧ [プライバシー] タブを選択し、「ポップアップブロック」の「設定」ボタンをクリックしてください。



「許可する Web サイトのアドレス」に、「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



「許可されたサイト」に「www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。



⑨<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

5 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中にリセットボタンや電源スイッチを押さないでください
- (3) 必ず、インストールプログラムを使用してインストールして下さい。

本書の手順以外でインストールした場合、動作の保証はできません。

5.1 JRE のインストール

◆JRE のインストール手順を説明します。

このマニュアルでは、JRE1.7 の場合について説明致します。

※:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が
画像と異なる場合があります。

①JRE をダウンロードします。

以下の URL にアクセスします。

<http://www.java.com/ja/download/manual.jsp>

『Windows オフライン』 をクリックします。



『保存』を選択し、任意の場所に保存します。



※ダウンロードするファイルは、ダウンロードを行う時点での最新バージョンとなるため、ファイル名が上記画像と異なる場合があります。

②インターネットエクスプローラなどすべてのアプリケーションを閉じます。
JRE のインストール手順は以下を参照してください。

★注意★

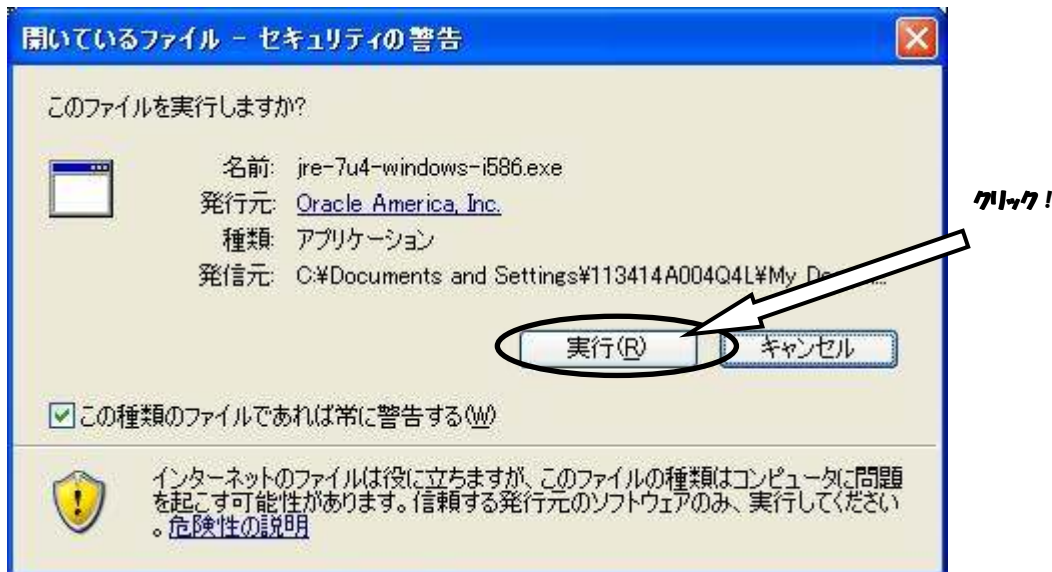
インターネットエクスプローラを起動したままインストールした場合、再起動させるまで **JAVA** のインストールが有効になりません。

5.1.1 JRE1.7 のインストール手順

①保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。

<セキュリティの警告>画面が表示されます。

『実行』ボタンをクリックします。



②<Java のセットアップ>画面が表示されます。

ライセンス契約を読み終えたら、「インストール」ボタンをクリックして、次に進みます。



③<セットアップ - 進捗>画面が表示されます。



④<セットアップ - 完了>画面が表示されます。

『閉じる』ボタンをクリックします。



5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール

インストール手順

◆easyHousing 電子署名ライブラリのインストール手順を説明します。

①インターネットエクスプローラを立ち上げアドレスバーに easyHousing のURLを入力します。

<easyHousing URL>
<https://www.easyhousing.ne.jp/>

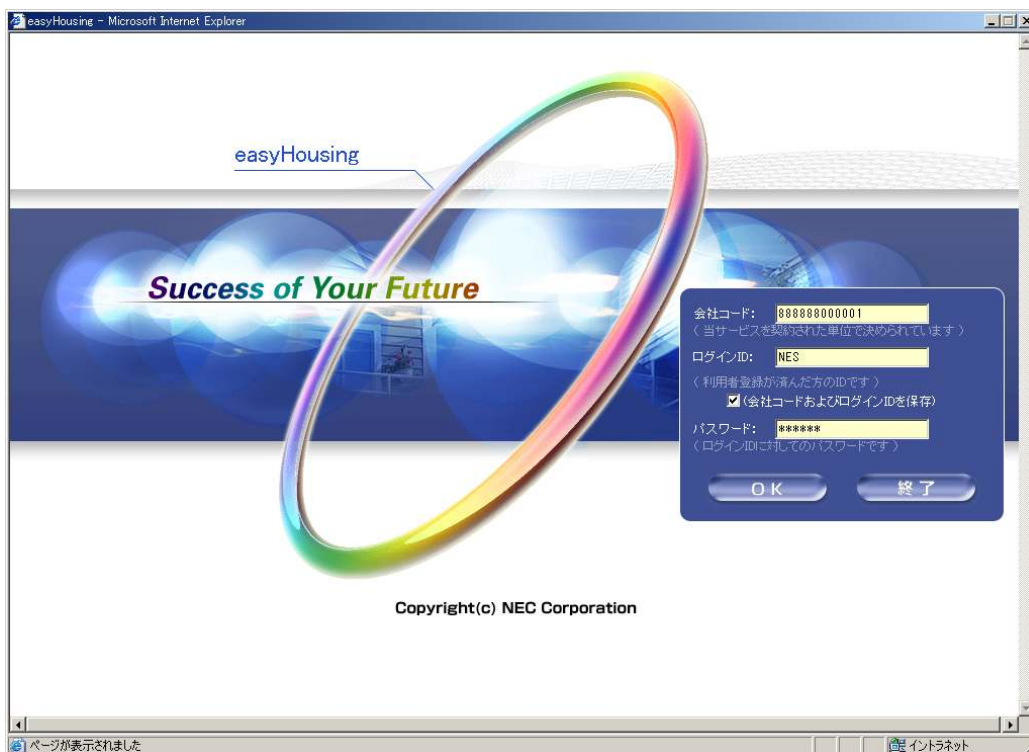


- ① Enter キーを押下するとお知らせ画面が表示され、15 秒経過するとログイン画面が表示されます。

※お知らせ画面は閉じないで下さい

ログイン画面では「企業管理コード（12桁）」と「ユーザーID」「パスワード」を入力することにより認証を行います。

企業コード、ログインID、パスワードを入力し、ログインします。



※ログイン画面と同時に、以下のような画面が開きます。



これは発注/請負処理高速化のための画面となります。

読み込み終了後は自動的に閉じられますので、×ボタンで閉じないようにしてください。

なお、読み込み処理中もログインなどの操作は可能です。

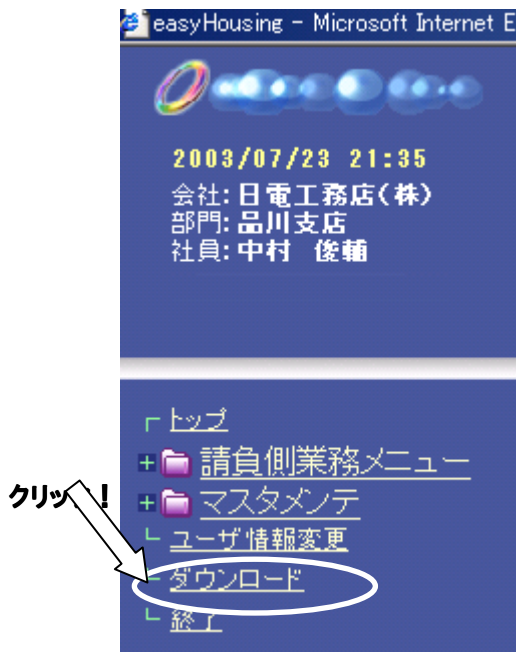
Java がインストールされていない場合

以下のようなメッセージが表示された場合は、×ボタンで画面を閉じ

Java をインストールして下さい。(18 ページ『5.1 JRE のインストール』を参照して下さい)



③メニューから【ダウンロード】を選んでください。



④＜ダウンロード＞画面が表示されます。

「電子署名ライブラリセットアップファイル」右の「download」という文字をクリックします。



工事発注請負サービス

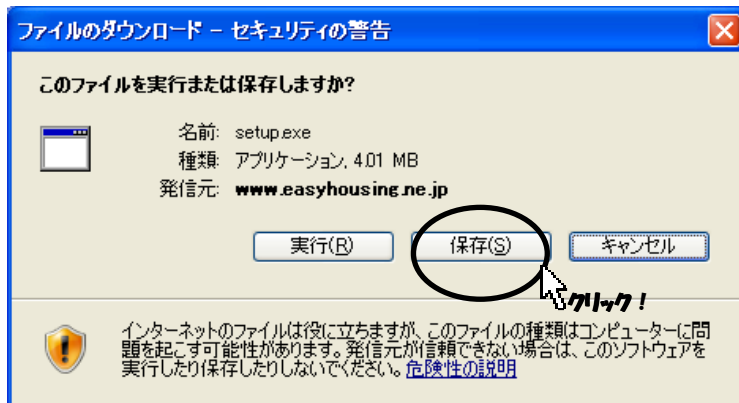
- 電子署名ライブラリセットアップファイル
- クライアントチェックツール

※WindowsXP、Vista、7対応



⑤<ファイルのダウンロード>画面が表示されます。

『保存』ボタンをクリックしてください。



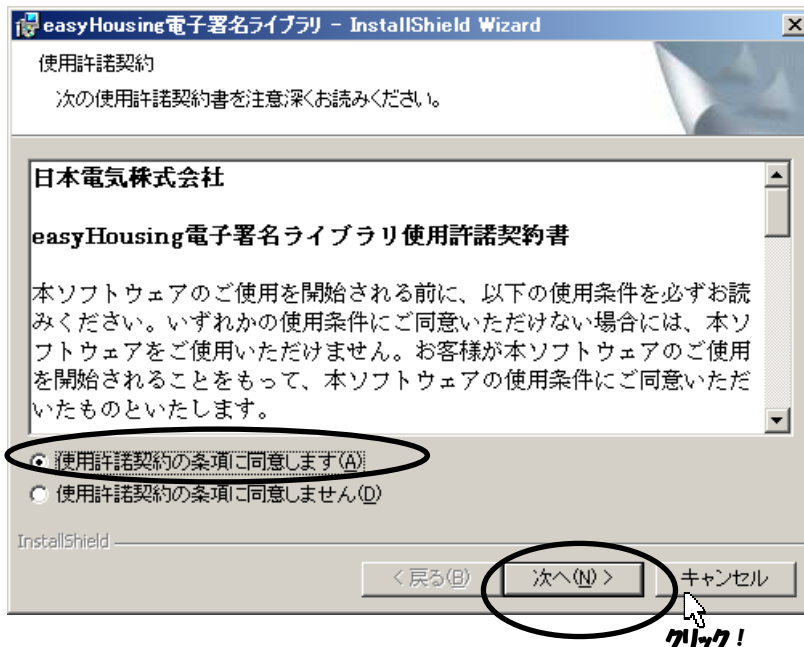
⑥<名前を付けて保存>画面が表示されます。任意のフォルダへ保存してください。



⑦保存したファイル「setup.exe」をダブルクリックし、セットアップを開始します。

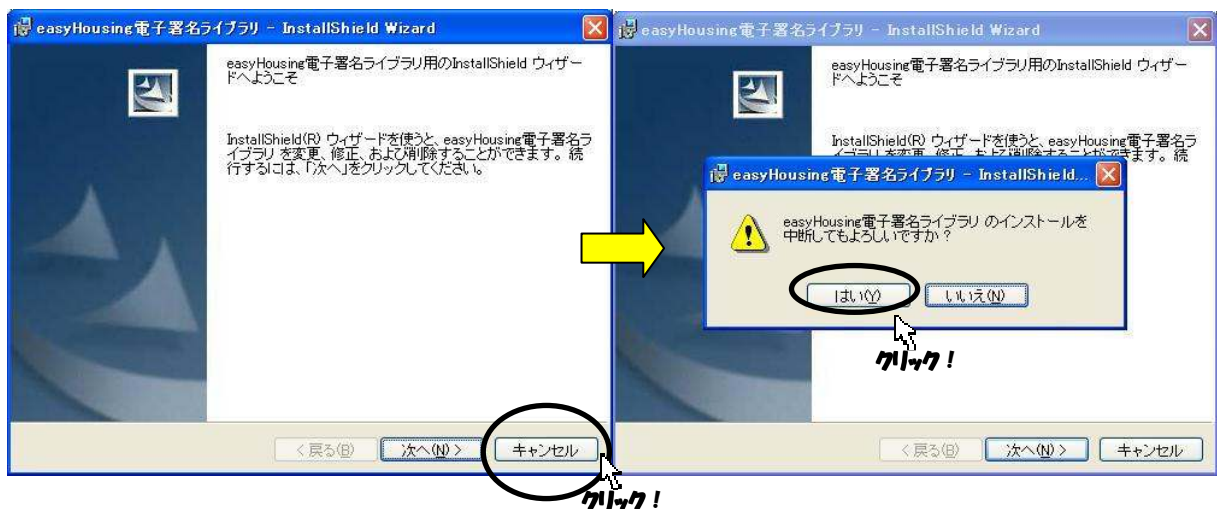
⑧ InstallShield Wizard が起動します。

- 初めて電子署名ライブラリをインストールする場合、＜使用許諾契約＞の画面が表示されます。
内容をご確認のうえ、
「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



手順⑨へ進んでください。

- 既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合、＜InstallShield ウィザードへようこそ＞の画面が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックし、「インストール中断確認」ダイアログが表示されたら『はい』を選択しインストールを中断します。
(電子署名ライブラリを再インストールする場合は、アンインストール後、手順⑦からインストールをやり直してください)



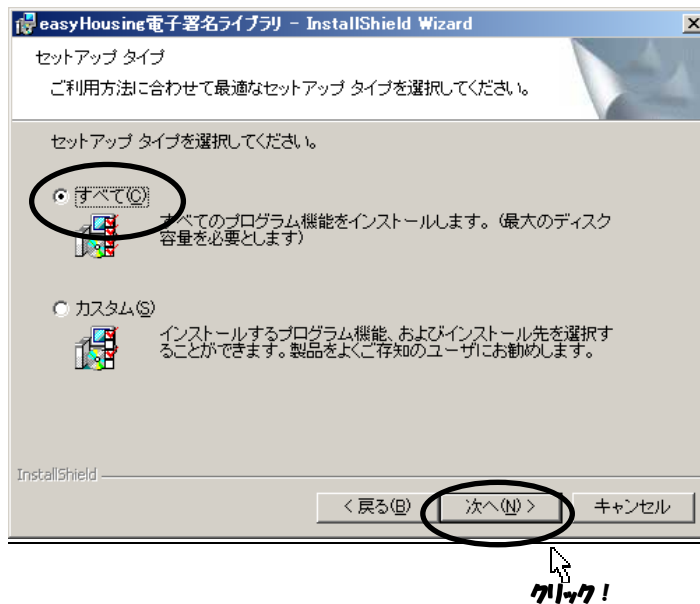
⑨<セットアップタイプ>の画面が表示されます。

セットアップタイプ「すべて」(通常)か、「カスタム」を選択したら『次へ』ボタンをクリックします。

- 通常は「すべて」を選択します。その場合インストール先はデフォルトで

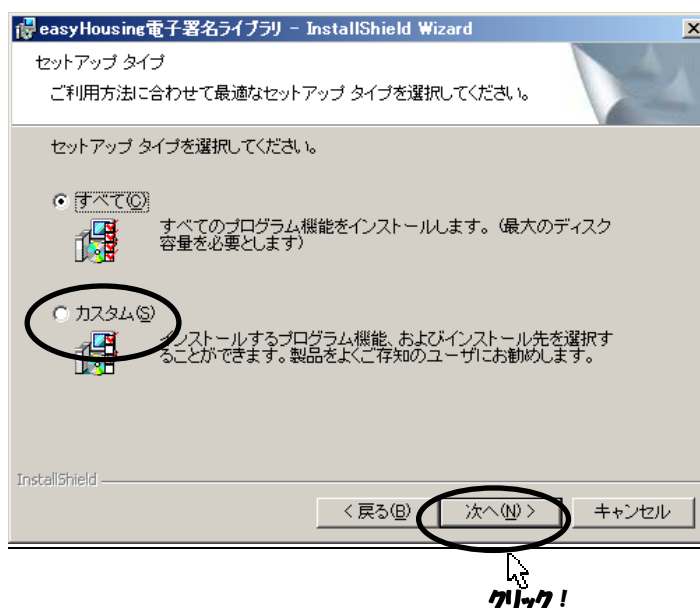
“C:\Program Files\NEC\jasp” となります。

⇒「すべて」を選択した場合、手順⑩⑪⑫をとばして⑬へ進みます。



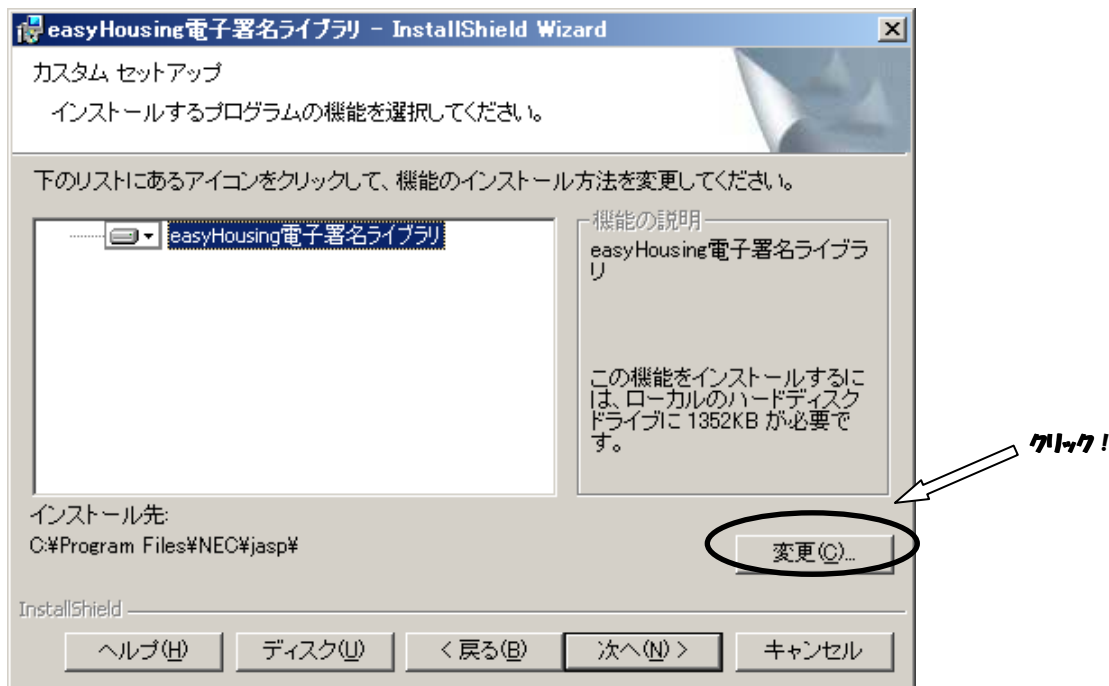
手順⑬へ進んでください。

- 「カスタム」を選択した場合、インストール先のフォルダをデフォルト以外に指定することができます。

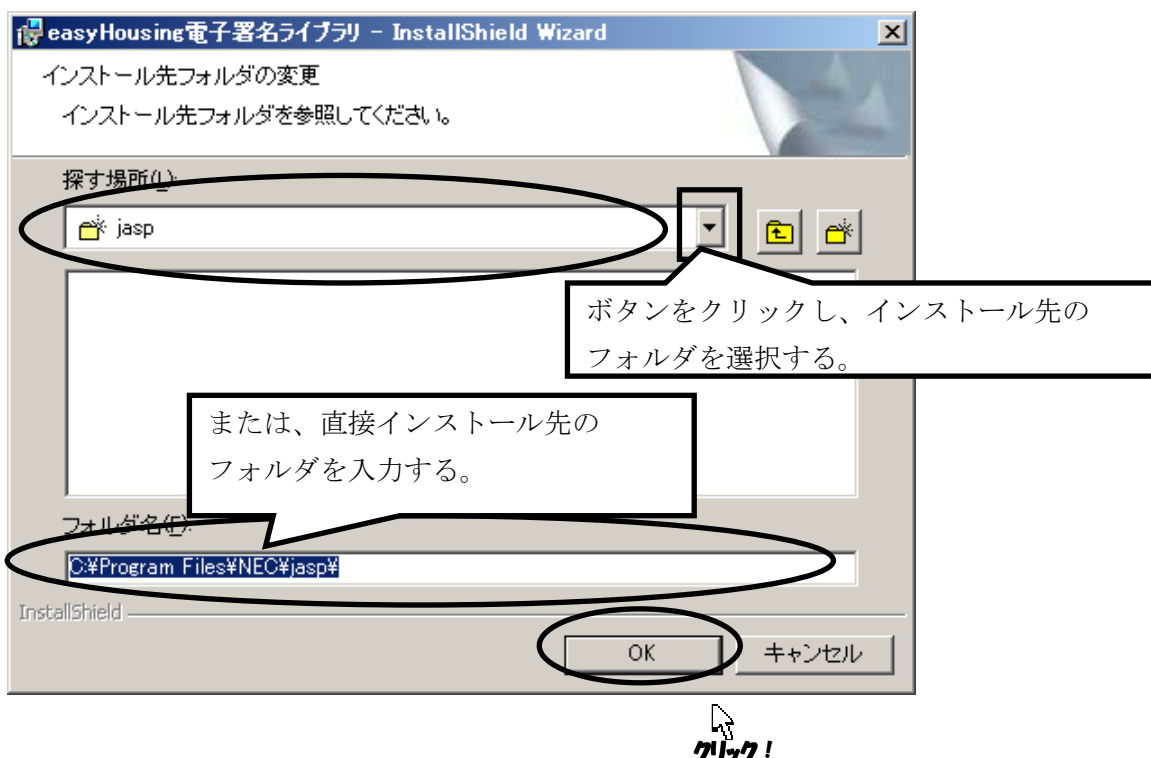


手順⑩へ進んでください。

- ⑩<カスタムセットアップ>画面が表示されます。(手順⑨で「カスタム」を選択した場合)
『変更』ボタンをクリックします。

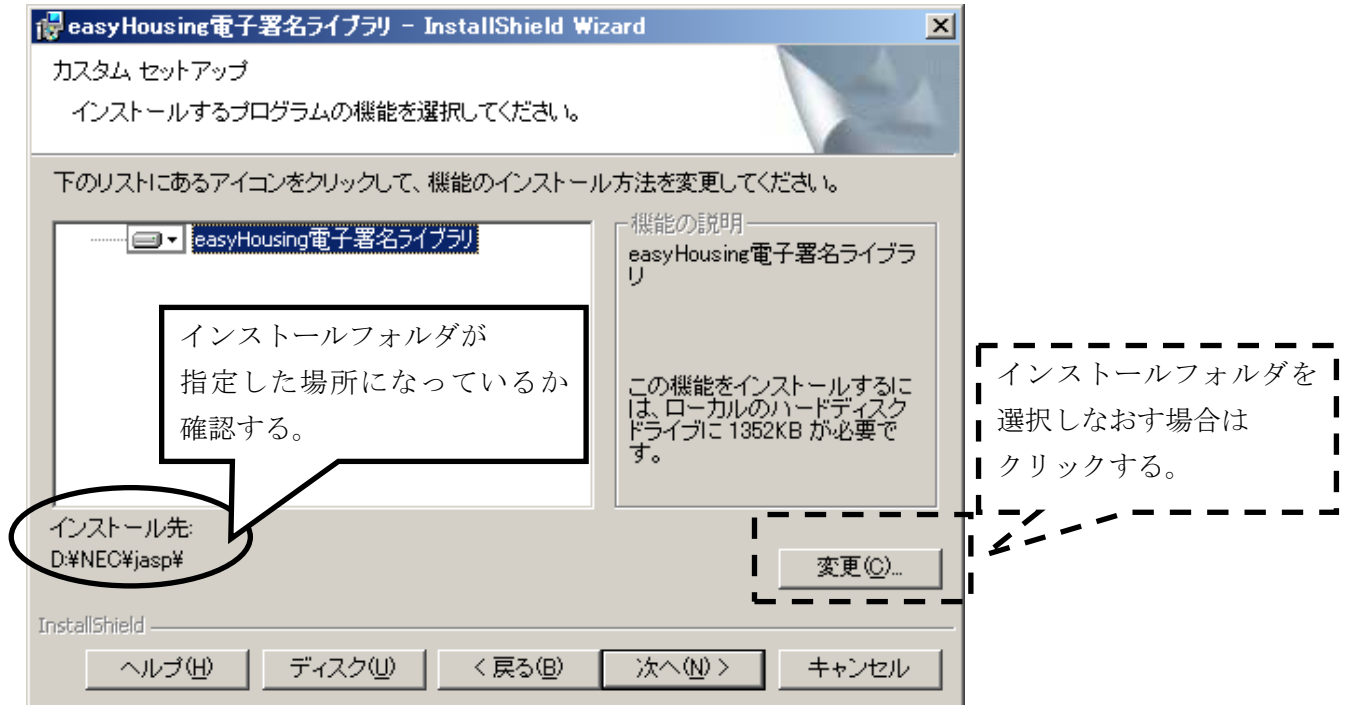


- ⑪<インストール先フォルダの変更>画面が表示されます。
「探す場所」プルダウンメニューからインストールフォルダを指定するか、または
「フォルダ名」の枠内に直接インストールフォルダの場所を入力し『OK』ボタンを
クリックします。



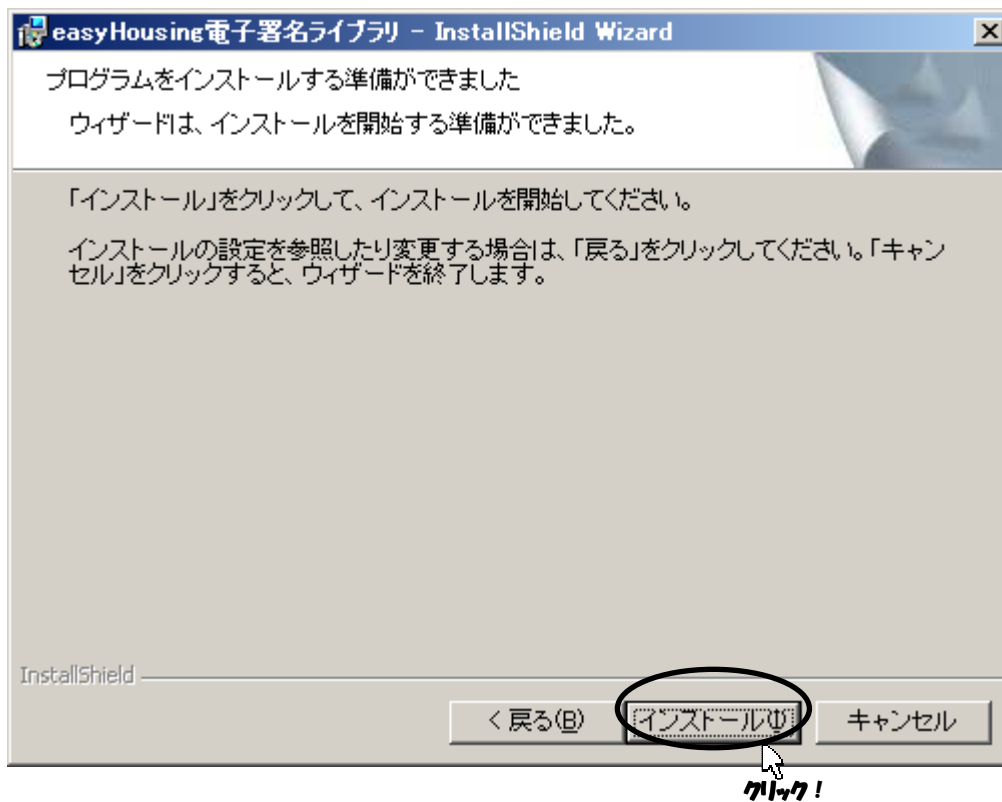
⑫<カスタムセットアップ>画面が表示されます。

「インストール先」が変更されていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。
再度、インストール先を変更する場合は『変更』ボタンをクリックし、手順⑤へ戻ります。



⑬<プログラムをインストールする準備ができました・・・>画面が表示されます。

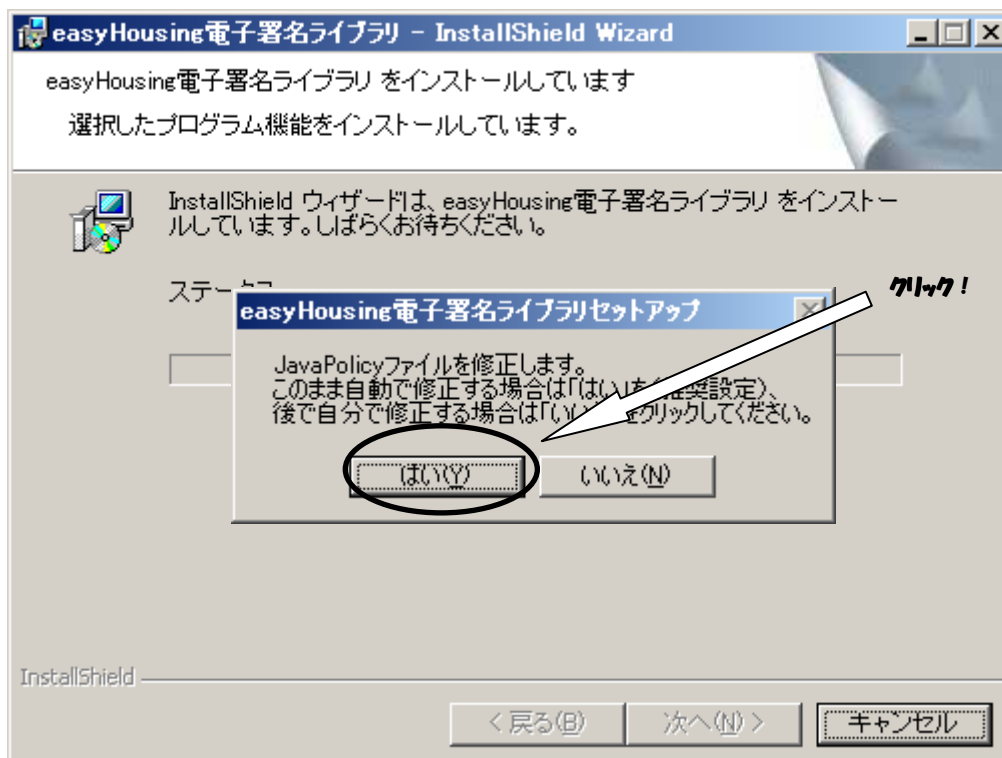
『インストール』ボタンをクリックし、インストールを開始します。



⑭インストール中に「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログが表示されます。

通常は『はい』ボタンをクリックし、修正を行います。

『いいえ』を選択した場合は、インストール後自分で修正します。



- 「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログで『いいえ』を選択しインストール後に「Javapolicy ファイル」を修正する場合は、以下の記述を追加します。

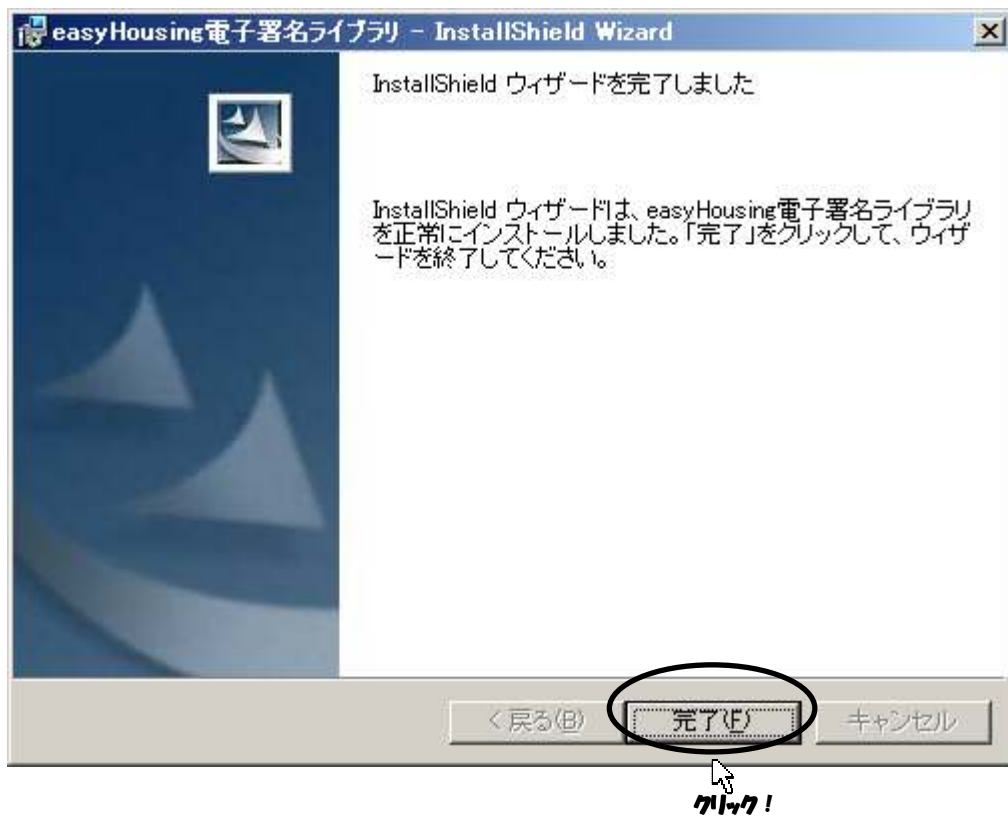
*JavaPolicy ファイルは以下の場所にあります。

Documents and Settings フォルダ内のユーザのフォルダ
(C:¥Documents and Settings¥(ユーザ名))

> 記述内容 <

```
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
```

⑮<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックし、インストール作業は終了です。



5.3 Adobe Reader のインストール

以下の手順では、Adobe Reader9 ※1 をダウンロードする手順について説明します。

※1:本書では、例としてバージョン 9 を使用しますが、
Adobe Reader のバージョンは 4 以上なら動作致します。

※2:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が
画像と異なる場合があります。

①以下の URL にアクセスします。

http://kb2.adobe.com/jp/cps/895/cpsid_89559.html



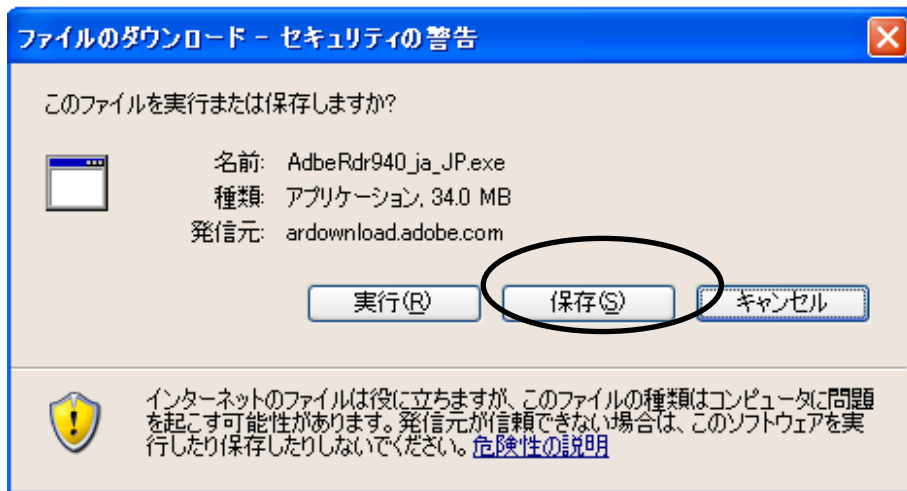
- ② 「Adobe Reader 9 インストーラー」のリンクをクリックします。

Windows 版 Adobe Reader 9

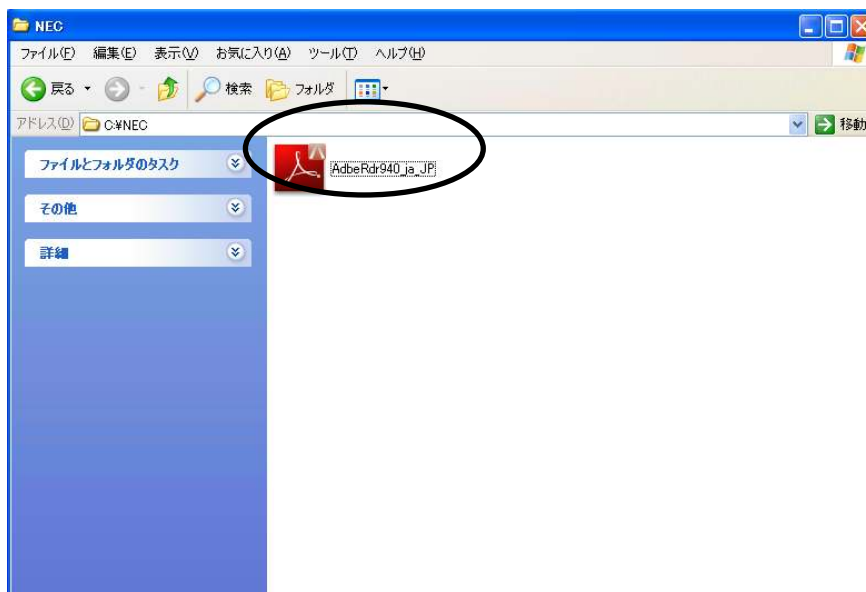
1. 以下のリンクをクリックし、ファイルをデスクトップなどの分かりやすい場所に保存します。

[Adobe Reader 9 インストーラー](#)

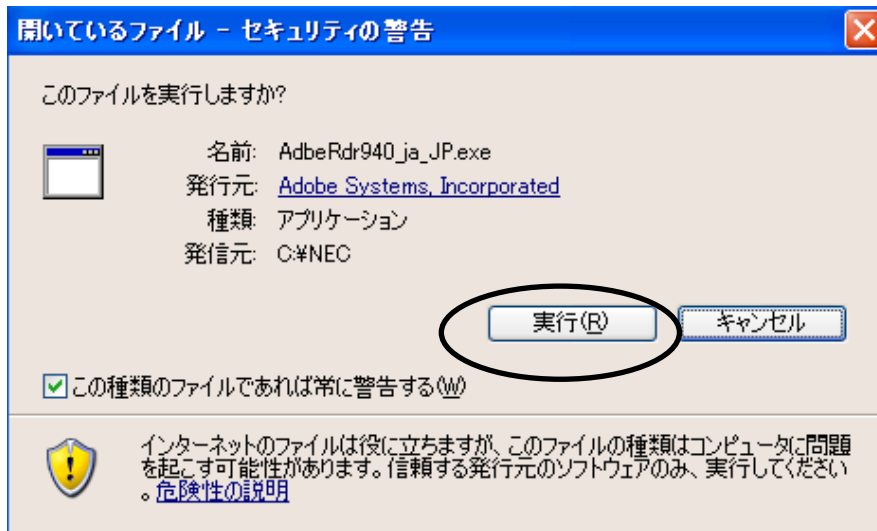
- ③ 「ファイルのダウンロード」画面で「保存」をクリックし、任意の場所に保存します。



- ④ 保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。



⑤「開いているファイル」画面で、「実行」をクリックします



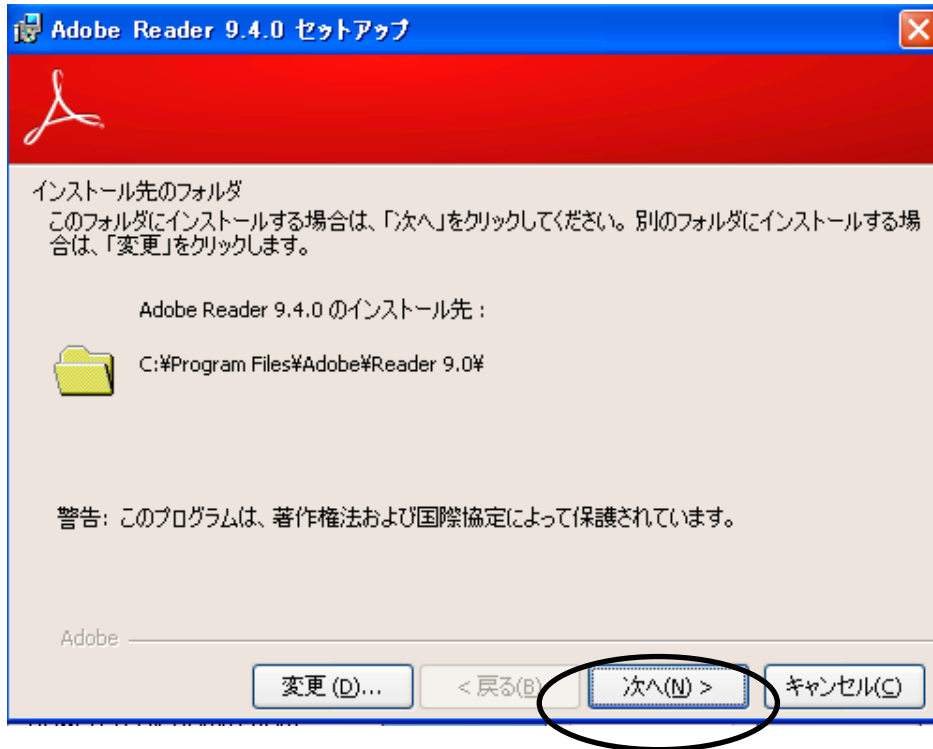
⑥進捗が 100%になるのを待ちます。



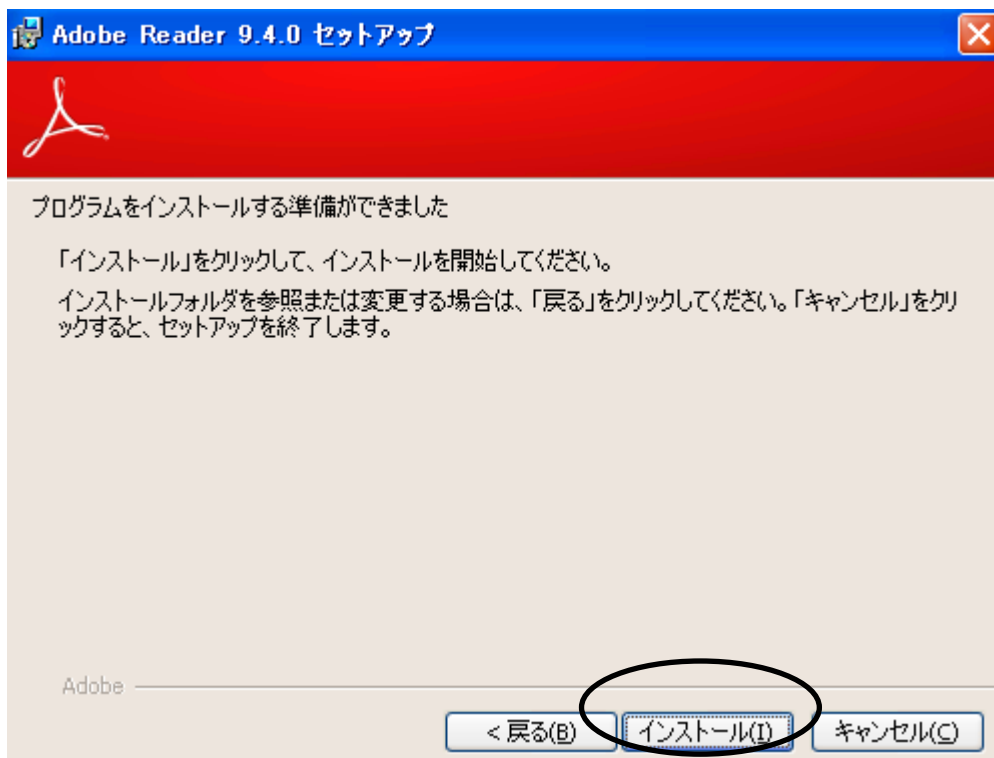
⑦「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。

この説明ではインストール先の変更はせず、そのまま「次へ」をクリックします。

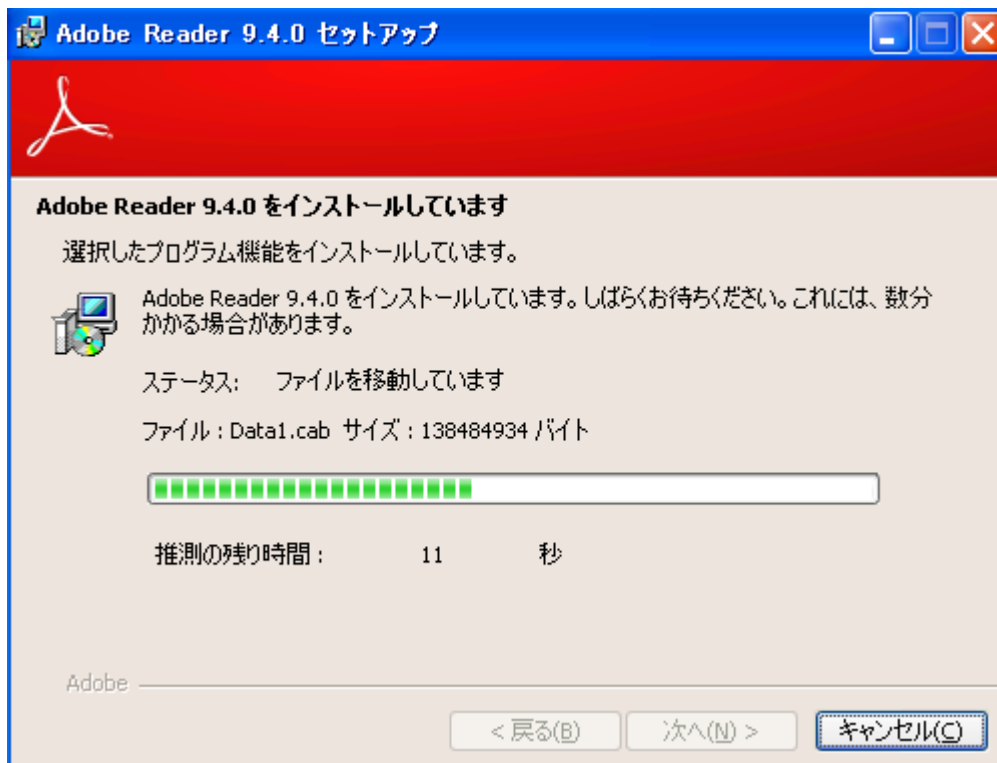
※必要に応じて「変更」ボタンでインストール先を指定することもできます。



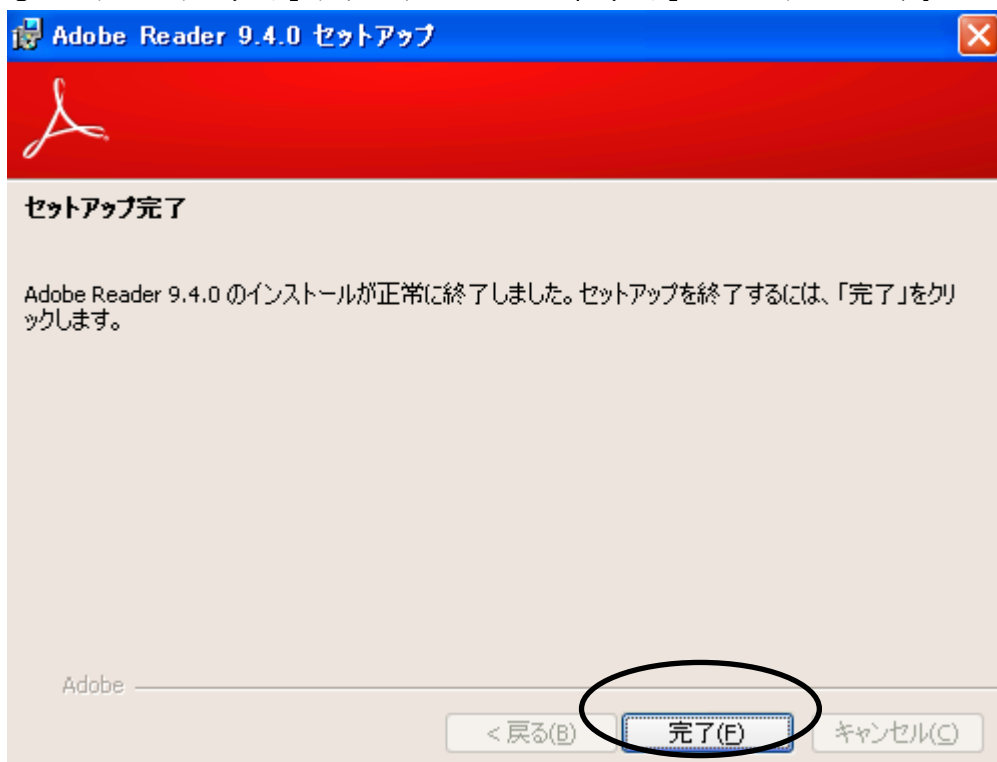
⑧「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。



⑨セットアップが完了するのを待ちます。



⑩「セットアップ完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックします。



以上で、本サービス利用にあたっての環境設定はすべて終了です。

環境設定マニュアル WindowsXP 編

2012 年 07 月 24 日 第 1.3 版

製作／日本電気株式会社

- ※ Microsoft[®]、Windows[®]、Microsoft[®] Internet Explorer、は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。